

春に向けてサシバエ対策を！

昨年11月に国内で初めて発生したランピースキン病の再流行のリスクを最小限にするため、今からサシバエ対策を行いましょう！！

国内ランピースキン病の発生経過

○2024年11月6日、福岡県の2農場で、国内初となるランピースキン病の発生。

○2025年1月23日現在、福岡県19例、熊本県3例の計22例の発生を確認。疑症牛を含めて、国内では累計230頭の発症を確認。自主淘汰等を進め、現在の発症頭数は0頭。

ランピースキン病とは

- ・ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病（人への感染はない）
- ・蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的な伝搬や感染した牛の移動により感染が拡大！
- ・全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少により生産性が低下し、経済的被害が大きい。

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



疑わしい場合は
直ちに連絡！



写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)